CORONA

自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機

エコキュート



取扱説明書 仕様編

1缶式 フルオートタイプ

		システム形式	貯湯ユニット	ヒートポンプユニット
一般地向け 高圧力 パワフル給湯	370L	シーエイチピー イー エイゼット CHP-E37AZ1	シーティーユー イー エイゼット CTU-E37AZ1	シーエイチピー エイゼット CHP-AZ451
	460L	シーエイチピー イー エイゼット CHP-E46AZ1	シーティーユー イー エイゼット CTU-E46AZ1	シーエイチピー エイゼット CHP-AZ601
		シーエイチピー イーエス エイゼット CHP-ES46AZ1	シーティーユー イーエス エイゼット CTU-ES46AZ1	
一般地向け	370L	シーエイチピー エイゼット CHP-37AZ1	シーティーユー エイゼット CTU-37AZ1	シーエイチピー エイゼット CHP-AZ451
		シーエイチピー エイゼット CHP-37AZ1-2	シーティーユー エイゼット CTU-37AZ1-2	
	460L	シーエイチピー エイゼット CHP-46AZ1	シーティーユー エイゼット CTU-46AZ1	シーエイチピー エイゼット CHP-AZ601

	台所リモコン	浴室リモコン
インターホンリモコン	アールエムピー ジーエイディー RMP-GAD1	アールビーピー ジーエイディー RBP-GAD1
無線LAN対応インターホンリモコン	アールエムピー ジーエイディーダブル RMP-GADW1	

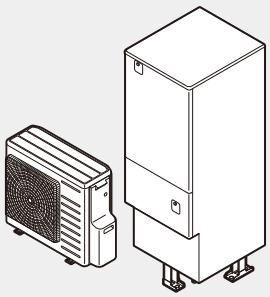
●このたびは、自然冷媒CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、使用上の注意事項を記載しております。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
そのあとは、別冊の「取扱説明書 操作編」、「保証書」と一緒に必要になったときにいつでもお読みになれるよう大切に保管してください。

●お買い上げの機種の形式は、「保証書」の表示、貯湯ユニットの銘板ラベルまたはリモコンの「形式・連絡先表示」をご確認ください。

※エコキュートは関西電力株式会社の登録商標です。

株式会社コロナ



もくじ

製品構成と各部のなまえ ……2
冬期の凍結予防について ……4
長期間お湯を使用しないとき ……6
次にご使用になるとき ……8
非常用取水栓の使い方 ……9
停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき ……10
貯湯ユニットのお手入れと日常点検 ……11
仕様 ……12
定期点検（有料）……14
保証とアフターサービス ……15

別冊の「取扱説明書 操作編」をご覧ください。

はじめに
安全上のご注意
据え付け・ご使用にあたってのお願い
リモコン各部の名前とはたらき など

給湯とおふろの使い方
お湯・シャワーを使う
お湯がたりないとき
おふろを沸かす など

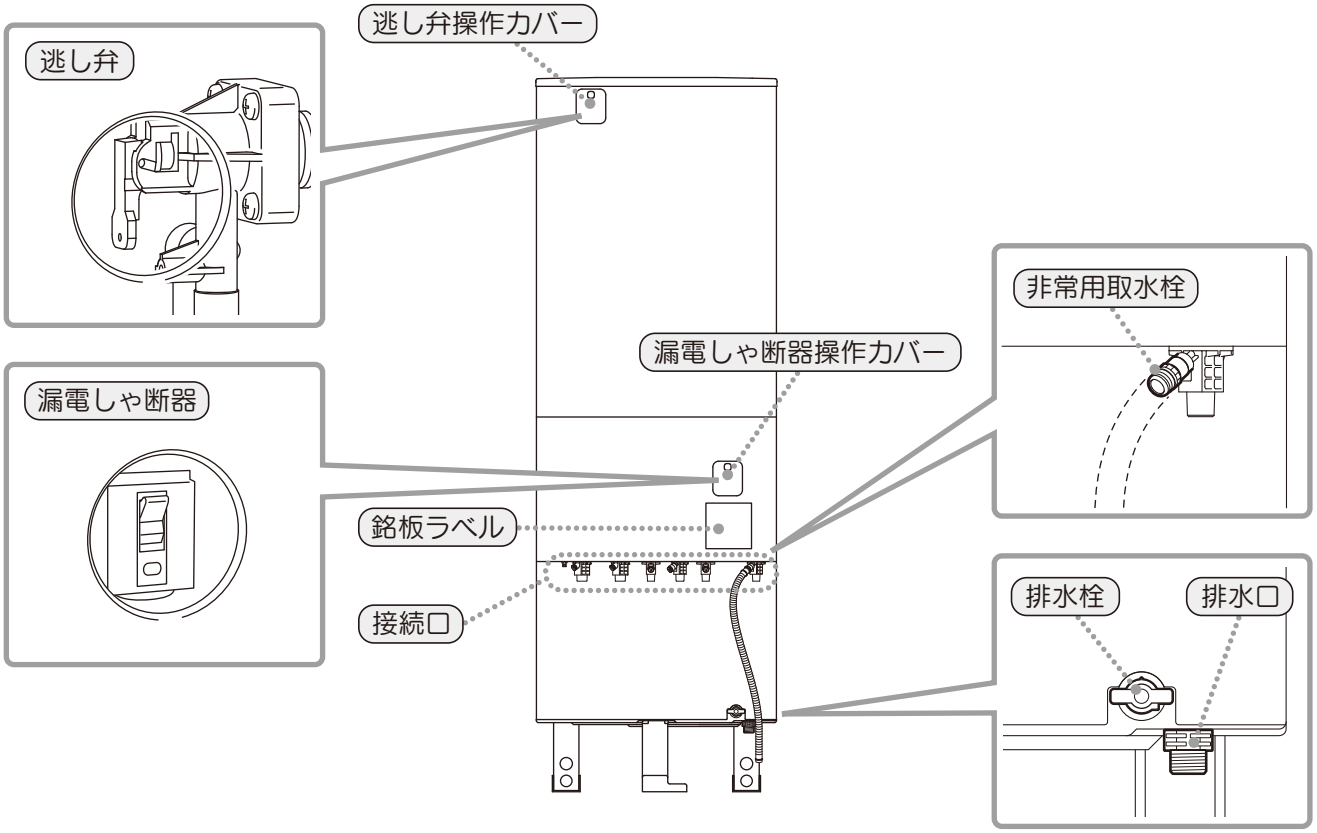
メニュー設定と便利な使い方
メニューの種類と設定方法
運転モード
数日間お湯を使用しないとき など

このようなときは
おふろのお手入れと日常点検
故障かなと思ったら
よくあるご質問 など

フルオートタイプ

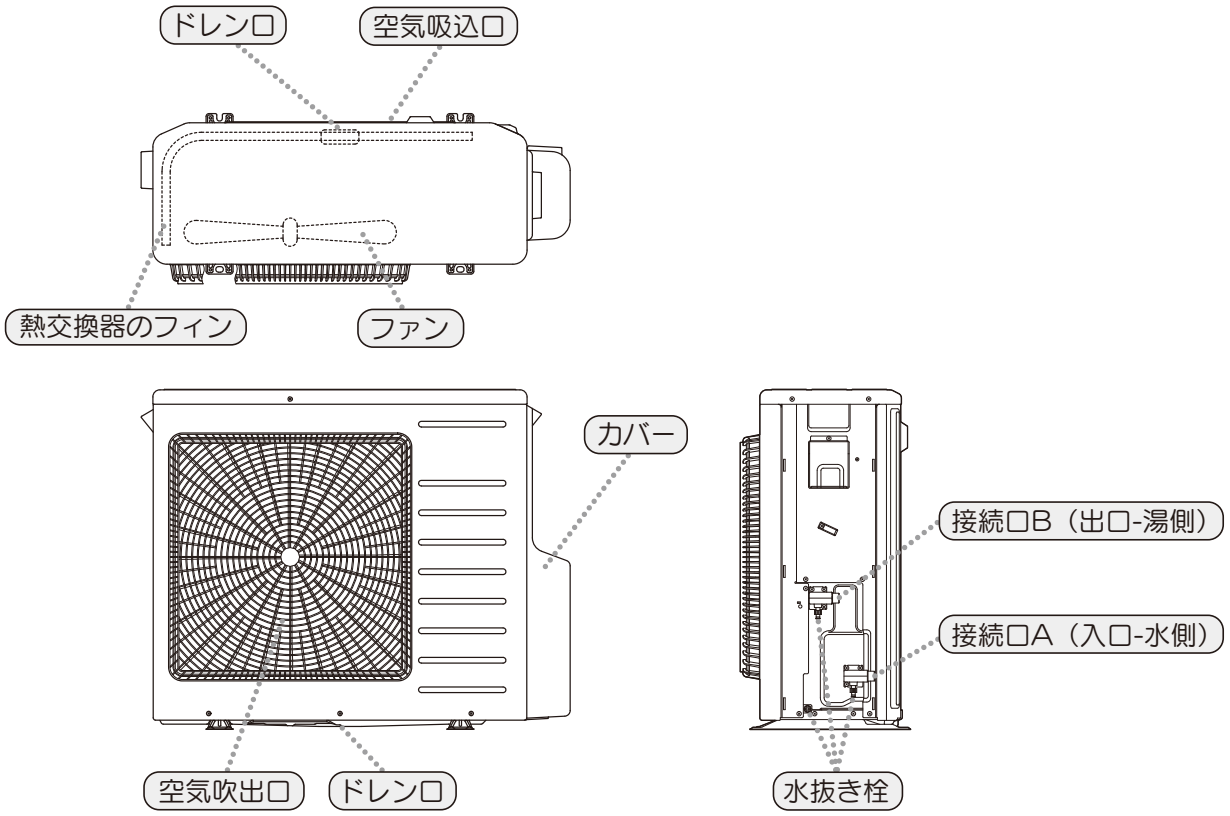
製品構成と各部のなまえ

貯湯ユニット



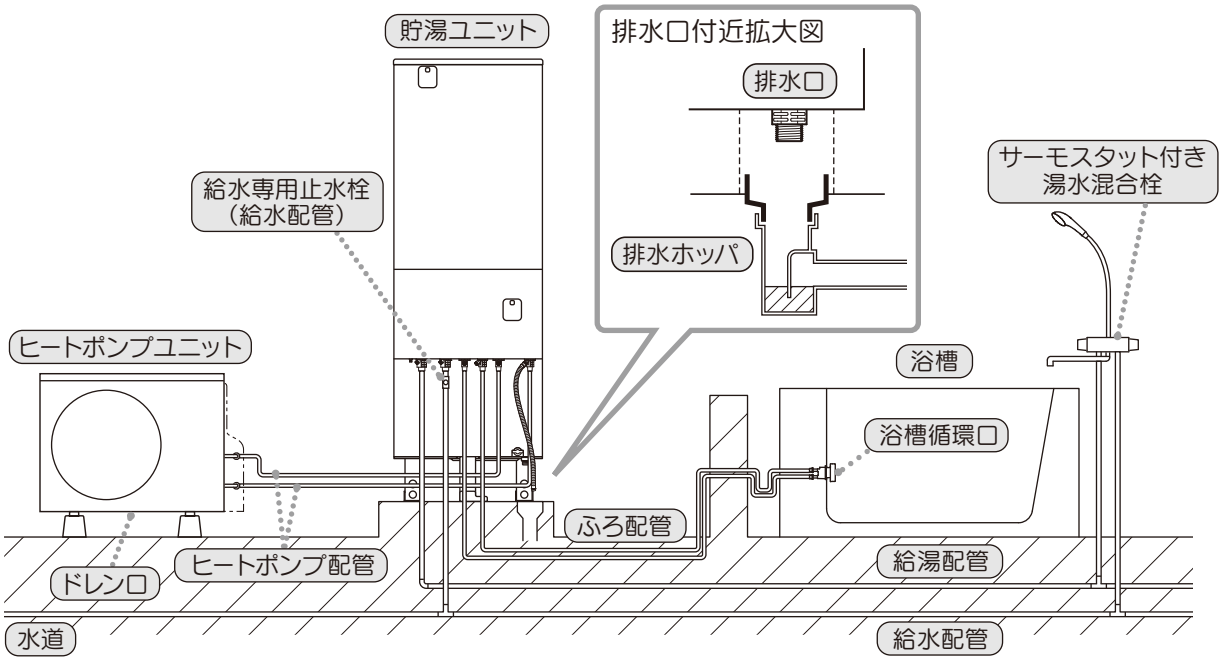
※上記の図は、370L タイプです。
機種により、接続口および脚の形状などが異なります。

ヒートポンプユニット



製品構成と各部のなまえ

接続配管例



お知らせ

- 沸上げ運転中および沸上げ停止後しばらくの間は、ヒートポンプユニット下部のドレン口から結露水が出ます。また、貯湯タンク内の水の温度が上昇したときの膨張分が、貯湯ユニットの排水口から出ます。
- シングルレバー湯水混合栓および手元ストップシャワー、マッサージシャワーなどのシャワーヘッドを使用すると、出湯量が少なくなることがあります。

お願い

- **水栓は逆止弁付き湯水混合栓を使用してください。逆止弁の付いていない湯水混合栓を使用した場合は、逃し弁からお湯が排水される場合があります。**
  またシャワー用はやけど防止のため、サーモスタット付き湯水混合栓を使用してください。

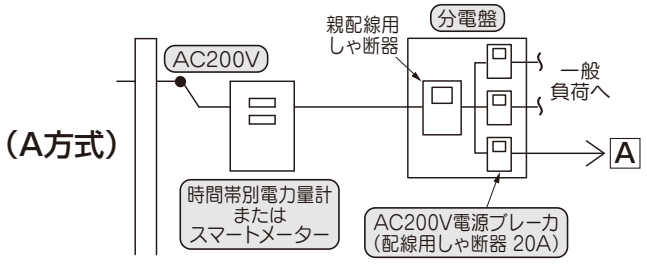
接続配線例

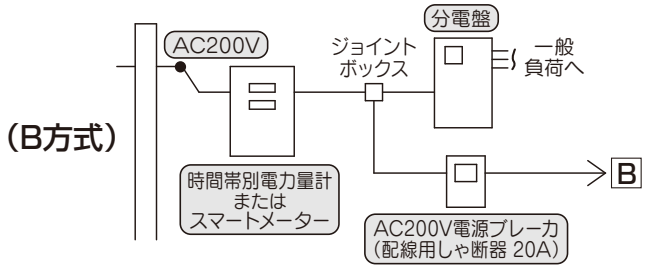
（時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約）

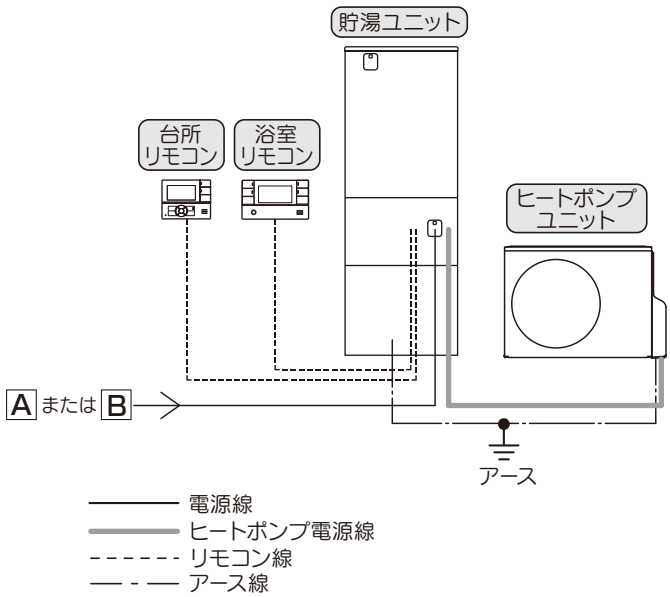
- 引込み配線方式には、A方式とB方式があります。適合する配線方式は、電力会社、機器により異なる場合がありますので、地域の電力会社へ確認してください。

⚠警告

- **アース工事がされていることを確認する**
  故障や漏電のときに感電の原因となります。
  販売店（工事店）にご確認ください。







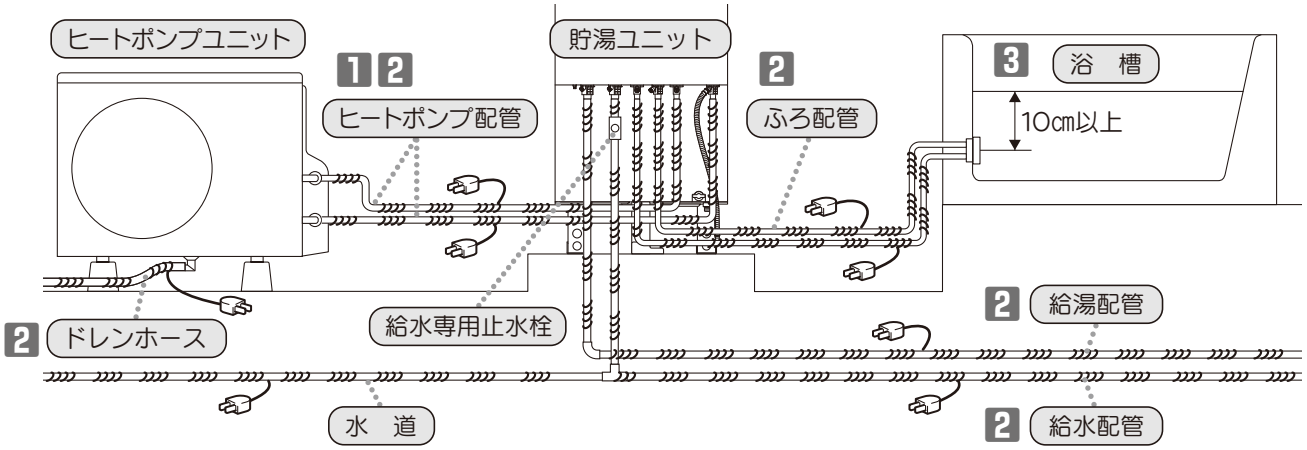
冬期の凍結予防について

●冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。
お買い上げの販売店または工事店へ相談し、適切な凍結防止対策をしてください。

⚠注意

●凍結のおそれがあるときは、電源を切らない
配管が凍結し、水漏れの原因になることがあります。

●配管の保温工事、不凍結水栓、凍結防止ヒータなど凍結防止対策を確認する
正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。
販売店（工事店）にご確認ください。



ヒートポンプ配管の凍結予防

1 電源を入れたままにしておく。

●外気温が約3℃以下になると、自動でヒートポンプ配管に水を循環させます。また、外気温がさらに低いときには、ヒートポンプユニットが運転する場合があります。

凍結防止ヒータを使う

2 凍結防止ヒータを使用するときは、すべての電源プラグをコンセントに差し込む。

●凍結防止ヒータを使用しないときは、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。

不凍結水栓により給水・給湯配管の凍結予防をおこなう場合

⚠警告

●お湯を使うときは、お湯の温度を確認する
入浴時やシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめないとやけどの原因となります。

――不凍結水栓をご使用になる地域のお客様へ――

●不凍結水栓で水抜きをした翌日の給湯は、給水・給湯配管の水が抜けているため、お湯・シャワーが一時的に途切れたり、湯温が変動する場合があります。

冬期の凍結予防について

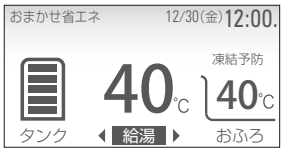
ふろ配管の凍結予防（おふろの残り湯循環）

3 入浴後、おふろのお湯を排水せず残しておく。

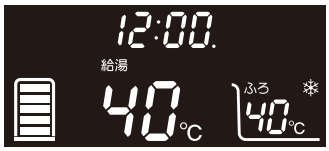
●循環ポンプが凍結するおそれのある気温になると、循環ポンプが自動的に運転して凍結を予防します。凍結のおそれのあるときは、おふろに浴槽循環口中心より10㎝以上水を残して、循環ポンプが空運転しないよう注意してください。
●凍結するおそれのある地域では、凍結防止ヒータで凍結予防もおこなってください。
●凍結予防運転中はリモコンに「凍結予防」（浴室リモコンの場合は「❄」）を表示します。



■台所リモコン画面



■浴室リモコン画面



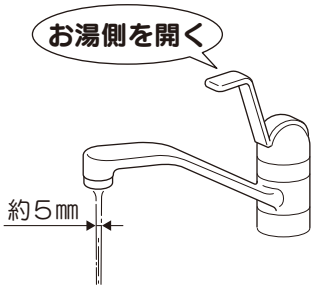
お知らせ

●「凍結予防」（「❄」）表示中は、ふろ配管の冷めたお湯がおふろに出ることがあります。
●おふろの残り湯が少ないときは、「凍結予防」（「❄」）表示中に浴槽循環口からボコボコと音がしたり、水が出たりすることがありますが、異常ではありません。

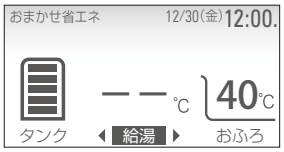
特に寒さが厳しいときの凍結予防

4 蛇口の通水による凍結予防をおこなう。

●給湯温度を「水（表示は －－℃）」に設定し、蛇口のお湯側を開き、１分間に約４００ccの水（太さ約５㎜）を流したままにしてください。（操作方法は取扱説明書 操作編「お湯・シャワーを使う」をご確認ください。）



■台所リモコン画面



■浴室リモコン画面



お願い

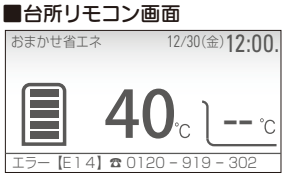
●寒さが厳しいときは、機器の凍結予防動作のみでは配管の凍結は防げませんので、必ずすべての配管に保温材を巻くなどして凍結予防の処置をしてください。（特にふろ配管は保温材が巻かれていない可能性があるので注意してください。）
また、貯湯ユニットや浴槽循環口との接続部についても、凍結のおそれがありますので必ず保温材を巻いてください。

実際に凍結してしまったら

●下記の症状が発生した場合、凍結の可能性があります。

- 蛇口からお湯がでない。
- ふろ湯はりができない。
- リモコンにエラー（E14）が表示された。

■台所リモコン画面



■浴室リモコン画面



対処方法

●気温の上昇により自然に解凍するまで待つ。
※給湯配管にお湯をかけて解凍すると、配管やバルブの破損の原因になるおそれがあります。

お願い

●対処方法にて改善しない場合は、給水専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。
（→取扱説明書 操作編「故障かなと思ったら」を参照）
●蛇口からお湯が出るようになったら、機器や配管から水漏れなどがないか確認してからご使用ください。

長期間お湯を使用しないとき

水抜きをする（16日間以上使用しないとき）

●外気温が0℃以下になるような冬期は、排水栓が凍結して排水できない場合があります。
凍結している場合は無理に操作せず、解凍してから排水してください。

⚠警告

●排水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らない
やけどの原因となります。

●逃し弁操作時は、内部の配管に触れない
やけどの原因となります。

●漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

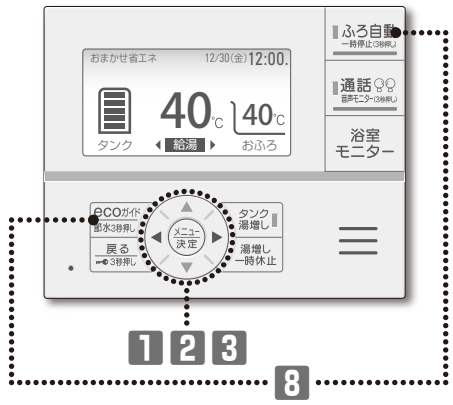
⚠注意

●長期間使用しないときは、機器の水抜きを行う
長期間使用しないと水質が変化し、飲用すると健康を害する原因になることがあります。

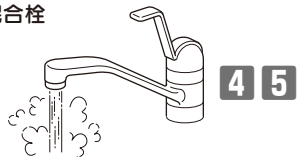
●冬期、漏電しゃ断器を「OFF」にする場合は、機器の水抜きを行う
満水のまま漏電しゃ断器を「OFF」にすると、配管が凍結し水漏れや故障の原因になることがあります。

●お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のカバーを閉じる
雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。

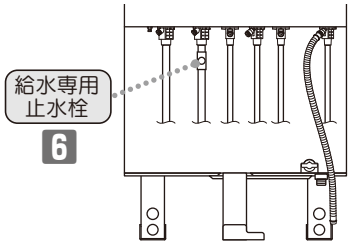
■台所・増設リモコン（図は台所リモコン）



■湯水混合栓

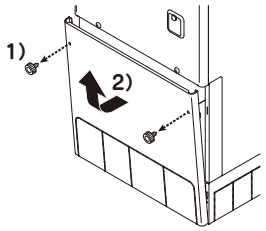


■貯湯ユニット（図は370Lタイプ）



脚カバー（別売品）を装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないように注意してください。）

【はずし方】
1) カバーを止めているネジをはずす。
2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



1 メニュー 決定 を押して「タンク」を選び メニュー 決定 を押す。
●「タンクメニュー」で「休止設定」を選びます。

2 ▲▼◀▶で「休止日」を選び メニュー 決定 を押す。
●休止日は水抜きする日を選んでください。

3 「使用再開日」が水抜きする翌日になっていることを確認し、メニュー 決定 を押す。
●通常画面に「休止中（再開日：○／○）」が表示されます。

4 湯水混合栓の湯側を全開にして、貯湯ユニット内をほぼ水の状態にする。
●貯湯ユニットの熱湯を下水に流さないために必要な操作です。

5 お湯がぬるくなったら、湯水混合栓を閉じる。

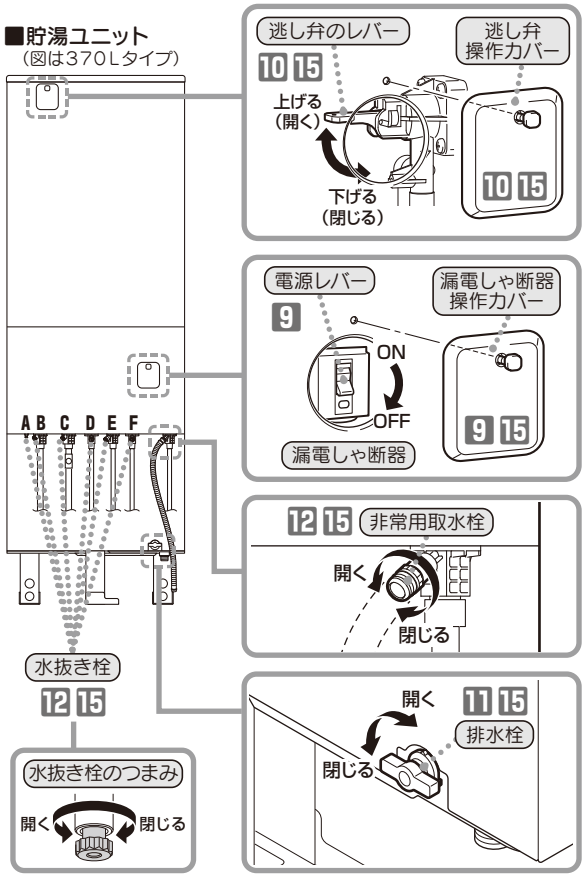
6 給水専用止水栓を閉じる。

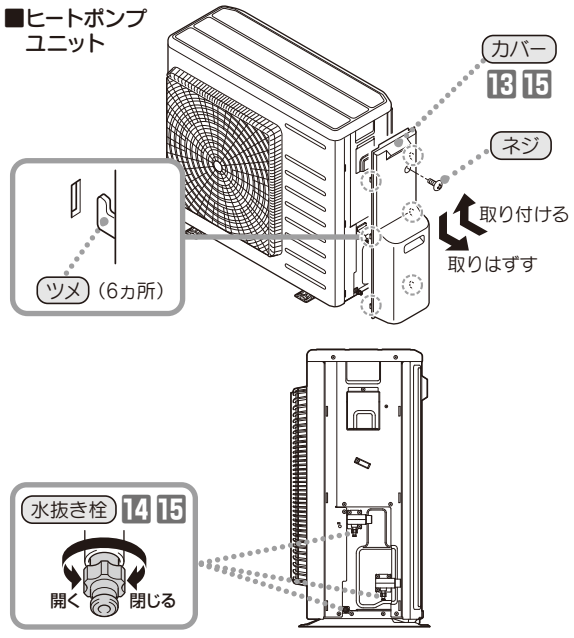
7 おふろの排水栓を抜く。

8 ecoガイド 節水3秒押し と ふろ自動 一時停止3秒押し を同時に5秒以上長押しする。
●「水抜き中」が表示され、浴槽循環口から水が出ます。
（解除する場合は 戻る 3秒押し を押します。）

〈以下次ページに続く〉

長期間お湯を使用しないとき





9 「水抜き中」が表示されてから、約10秒以上たったら、漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。

10 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

11 貯湯ユニットの排水栓を開く。

※排水が終わるまでに40～75分かかります。

12 排水が終わったら貯湯ユニットの水抜き栓（A～F、6ヵ所）と非常用取水栓を開く。

（必要な場合はバケツ等で水を受けてください。）

13 ヒートポンプユニットのカバーを止めているネジをはずし、下へスライドさせツメ（6ヵ所）をはずしカバーを取りはずす。

- ●お手持ちのプラスドライバーをご使用ください。
- ●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

14 ヒートポンプユニットの水抜き栓（3ヵ所）を開き、各水抜き栓からの排水を確認する。

※排水が終わるまでに約20分かかります。

15 排水が終わったら、逃し弁のレバーを下げてすべての栓を閉じ、操作カバーおよびヒートポンプユニットのカバーを元どおりに戻す。

お願い

●凍結するおそれのある地域でご使用の場合は、お買い上げの販売店（工事店）に連絡し、機器の減圧弁の水抜き作業を依頼してください。

お知らせ

●電源をOFFにした場合、過去のお湯の使用量がリセットされる場合があります。

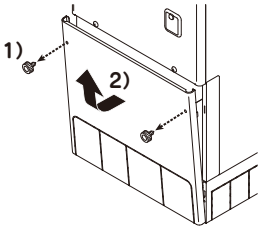
次にご使用になるとき（タンクに水がないとき）

●貯湯ユニットを満水にしてヒートポンプユニットのエア抜きをした後、電源を入れます。

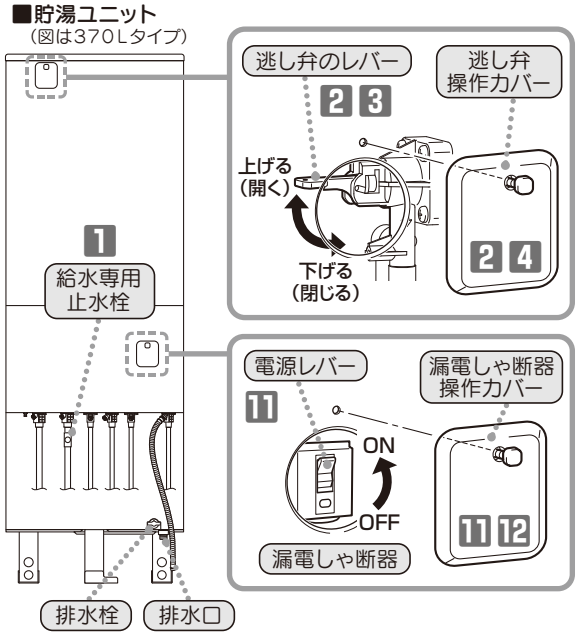
脚カバー（別売品）を装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないように注意してください。）

【はずし方】

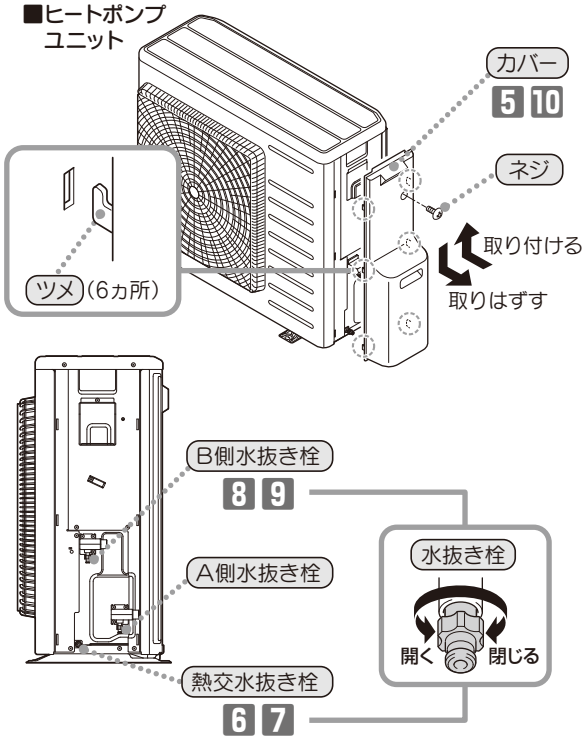
1) カバーを止めているネジをはずす。
2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



■貯湯ユニット
（図は370Lタイプ）



■ヒートポンプユニット



⚠警告

●漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

お願い

●貯湯ユニットとヒートポンプユニットが満水になる前に、電源を入れないでください。
満水にしないで電源を入れると故障の原因になります。

●エア抜きは必ず手順どおりにおこなってください。
エラーが発生し、正常に動作できなくなります。

貯湯ユニットを満水にする

※排水栓が閉じていることを確認してから作業をおこなってください。

1 給水専用止水栓を開く。

2 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。
●約20分で貯湯ユニットが満水になります。

3 排水口から勢いよく水が出たら逃し弁のレバーを下げる。

4 逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける。

ヒートポンプユニットのエア抜きをする

5 カバーのネジをはずし、下へスライドさせてツメをはずしカバーを取りはずす。
●お手持ちのプラスドライバーをご使用ください。
●必要以上にスライドさせるとツメ部が破損するおそれがあります。

6 熱交水抜き栓を開き、エア抜きをする。
●3分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。

7 十分エアが抜けたら、熱交水抜き栓を閉じる。

8 B側水抜き栓を開き、エア抜きをする。
●3分以上、十分にエアが抜けるまでおこなってください。

9 十分エアが抜けたら、B側水抜き栓を閉じる。

10 エア抜きが終わったら、カバーを元どおりに取り付ける。

電源を入れる

11 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「ON」にする。
●自動でヒートポンプ配管のエア抜き運転を開始し、台所リモコンに「HPエア抜き運転中」、浴室リモコンに「Air」を表示します。
●約10分でエア抜き運転が終了します。

12 漏電しゃ断器操作カバーを元どおりに取り付ける。

13 日時設定、給湯・ふろ温度設定をする。
（→取扱説明書 操作編「日時を合わせる」、「お湯・シャワーを使う」「おふろの温度を設定する」を参照）

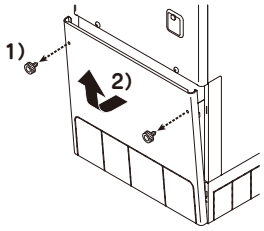
非常用取水栓の使い方

●地震などの災害時や断水時は、貯湯ユニットのお湯（水）を生活用水として使用することができます。

脚カバー（別売品）を装着している場合は、カバーをはずしてください。
（カバーの端面で手を切らないように注意してください。）

【はずし方】

1) カバーを止めているネジをはずす。
2) カバーを矢印方向に動かしながらツメをはずす。



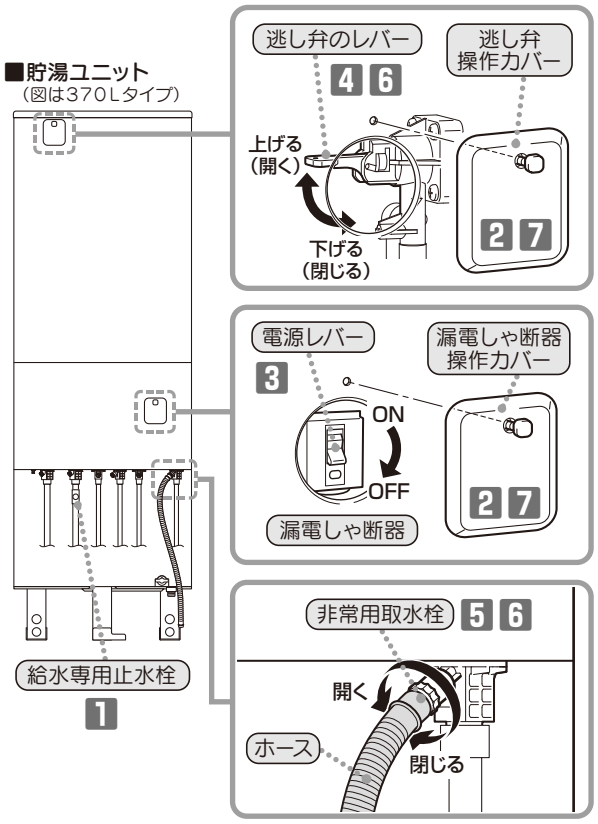
⚠警告

●取水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らない
やけどの原因となります。

●漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない
感電の原因となります。

お願い

●飲用には用いないでください。
貯湯ユニットに滞留していた水のため、生活用水として使用してください。



※準備するもの…容器（やかん、バケツなど）

1 給水専用止水栓を閉じる。

2 貯湯ユニットの操作カバー（逃し弁、漏電しゃ断器）をはずす。

3 漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。

4 逃し弁のレバーを上げる。

5 非常用取水栓を開き、容器に水を受ける。
●ホースをつかみ、1回転～1回転半まわしてください。それ以上まわすと、はずれるおそれがあります。

6 取水が終わったら、非常用取水栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げる。

7 操作カバー（逃し弁、漏電しゃ断器）を元どおりに取り付ける。

お願い

●再びご使用になるときは「次にご使用になるとき」の手順で作業をおこなってください。（→8 ページ）

エコキュートには、停電や断水にそなえる機能があります。

エコキュートでできること

●貯湯タンクにお湯を確保する　●浴槽に水を確保する
（→取扱説明書 操作編「生活用水を確保する」を参照）

停電したときや断水・水道工事がおこなわれるとき

停電したとき

●停電があってもお客様の設定した「日時」などの設定は記憶しています。ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせてください。（→取扱説明書 操作編「日時を合わせる」を参照）

湯切れする場合があります。

●タンク湯増しをおこなうか、運転モードを「満タン（１週間）」に設定してください。
（→取扱説明書 操作編「お湯がたりないとき」「運転モード」を参照）

湯はりの予約（ふろ予約）が解除されています。

●湯はり予約が解除されている場合は、再度予約をしてください。
（→取扱説明書 操作編「湯はりの予約（ふろ予約）」を参照）

ふろ自動運転が停止しています。

●おふろのお湯を全部排水してから、再度ふろ自動運転をおこなってください。

「電力契約設定」が表示された場合

●電力契約設定を確認後、日時を合わせてください。
（→取扱説明書 操作編「電力契約の設定」、「日時を合わせる」を参照）

長時間の停電となる場合

●冬期は凍結して機器が破損することがあります。貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をしてください。（→6ページ）

断水･水道工事がおこなわれるとき

●断水したときや、近くで水道工事がおこなわれるときは、貯湯ユニットの給水専用止水栓を閉じてください。

●断水・水道工事が終了したら、湯水混合栓の水側を全開にして、水の汚れがなくなったことを確認してから、貯湯ユニットの給水専用止水栓を開いてください。

●水の汚れがなくならないうちに給水専用止水栓を開くと、にごった水が貯湯ユニット内のストレーナを目詰まりさせ、お湯の出が悪くなったり、お湯がにごる原因になります。
貯湯ユニット内ににごった水が入った場合は、水のにごりがなくなるまで貯湯ユニットの排水をしてください。（→11ページ）

●断水・水道工事中は、お湯を使用しないでください。エラーを表示する場合があります。

貯湯ユニットのお手入れと日常点検

1年に2～3回程度のお手入れ

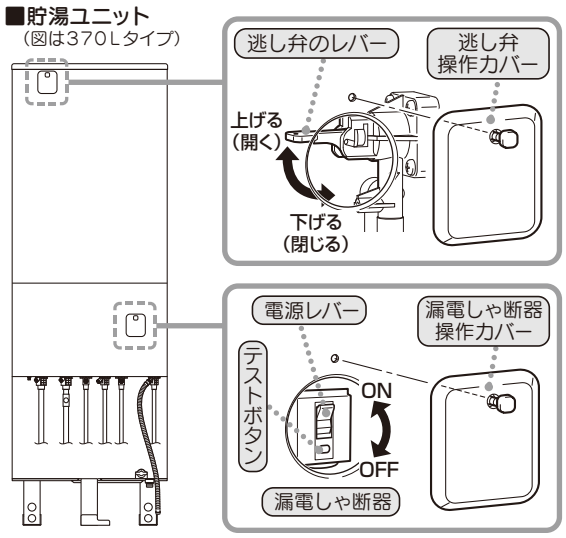
漏電しゃ断器・逃し弁の点検

⚠警告

- **逃し弁操作時は、内部の配管に触れない**
  やけどの原因となります。
- **漏電しゃ断器の動作を確認する**
  故障のまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- **漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない**
  感電の原因となります。

⚠注意

- **定期的に逃し弁の点検をする**
  正しく作動しないと、水漏れの原因になることがあります。
- **お手入れや点検の後は、漏電しゃ断器と逃し弁のカバーを閉じる**
  雨やごみが入ると漏電による火災や感電の原因になることがあります。



■逃し弁の点検

1 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを2～3回上下に動かす。
- ●上げたときのみ、排水口から水（お湯）が出れば正常です。
  ※ヒートポンプユニットが湯増し運転をしていると、逃し弁のレバーを下げてもお湯が出る場合があります。

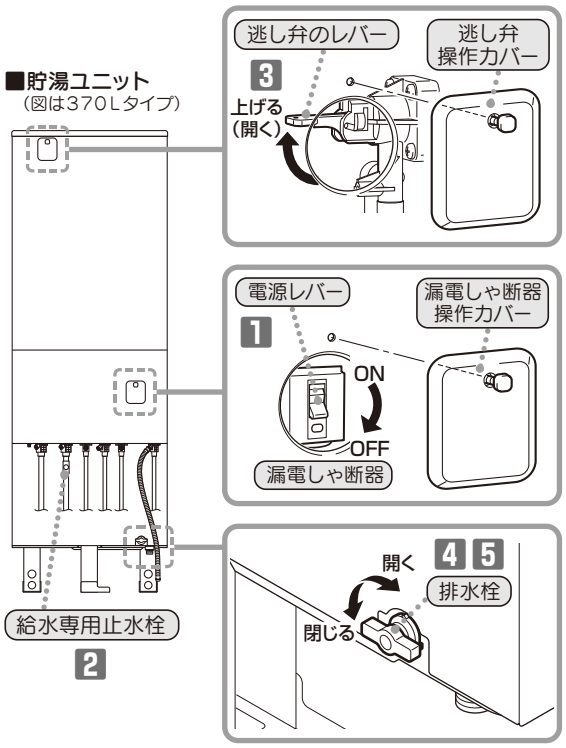
2 逃し弁のレバーを下げ、逃し弁操作カバーを元どおりに取り付ける。

■漏電しゃ断器の動作確認

1 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器のテストボタンを押す。
- ●電源レバーが「ON」から「OFF」になれば正常です。

2 電源レバーを「ON」に戻し、漏電しゃ断器操作カバーを元どおりに取り付ける。

貯湯ユニットのお手入れ



●貯湯ユニット内の汚れなどを排水してください。

⚠警告

- **排水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らない**
  やけどの原因となります。
- **漏電しゃ断器は、ぬれた手で操作しない**
  感電の原因となります。

1 漏電しゃ断器操作カバーをはずし、漏電しゃ断器の電源レバーを「OFF」にする。

2 給水専用止水栓を閉じる。

3 逃し弁操作カバーをはずし、逃し弁のレバーを上げる。

4 排水栓を開く。

5 1～2分間排水し、汚れがなくなったら排水栓を閉じる。

6 お手入れ完了後「次にご使用になるとき」の手順（**1**～**4**、**11**～**13**）で作業をおこなう。
（→8 ページ）

仕様

■この仕様値は、JIS C 9220:2018に基づいた数値です。

システム	形式	CHP-E37AZ1	CHP-37AZ1 CHP-37AZ1-2	CHP-E46AZ1	CHP-46AZ1	CHP-ES46AZ1
	タイプ	フルオート				
	適用電力制度	時間帯別電灯型、季節別時間帯別電灯型				
	相数　定格電圧　定格周波数	単相　200V　50／60Hz				
	最大電流	17A		18A		18A
	沸上げ温度範囲	約65℃～約90℃				
	年間給湯保温効率(JIS)※1※2	3.5		3.5		3.5

貯湯ユニット	形式	CTU-E37AZ1	CTU-37AZ1 CTU-37AZ1-2	CTU-E46AZ1	CTU-46AZ1	CTU-ES46AZ1
	種類	屋外形	CTU-37AZ1　:屋外形 CTU-37AZ1-2:屋内形	屋外形		
	タンク容量	370L		460L		
	水側最高使用圧力(減圧弁設定圧力)	290kPa (260kPa)	190kPa (170kPa)	290kPa (260kPa)	190kPa (170kPa)	290kPa (260kPa)
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	1860㎜×630㎜×730㎜		1850㎜×700㎜×795㎜		2200㎜×630㎜×730㎜
	質量（製品質量／満水時質量）	58kg／428kg	CTU-37AZ1　:56kg/426kg CTU-37AZ1-2:57kg/427kg	67kg／527kg	65kg／525kg	69kg／529kg
	消費電力　ふろ保温	65W：循環ポンプ				
	消費電力　制御用	2W ※3				
	貯湯機能	おまかせ省エネ・おまかせ・使いきり・満タン・タンク湯増し・湯増し一時休止				
	ふろ給湯機能	自動湯はり・省エネ保温・自動保温・自動たし湯・追いだき・たし湯・さし水・高温さし湯（追いだきスイッチ3秒押し）				
	基準浴槽	有効水量 180L ～ 220L（満水容積 340L 以下の浴槽）				
	設置可能最低外気温度	−10℃				

ヒートポンプユニット	形式	CHP-AZ451	CHP-AZ601
	外形寸法（高さ×幅×奥行）	720㎜×792㎜［カバー部＋92㎜］×299㎜	
	質量	45kg	45kg
	中間期標準加熱能力／消費電力 ※4※5	4.5kW／0.970kW	6.0kW／1.360kW
	中間期標準運転電流 ※5	6.2A	7.2A
	中間期標準エネルギー消費効率	4.6	4.4
	冬期高温加熱能力／消費電力 ※4※6※7	4.5kW／1.500kW	6.0kW／2.000kW
	ヒートポンプ運転音（音響パワーレベル）※8 （中間期※5／冬期 ※6）	51dB／55dB	55dB／57dB
	冷媒名 及び 封入量	CO_2　0.810kg	CO_2　0.810kg
	設計圧力（高圧／低圧）	13.3MPa／8.0MPa	
	設置可能最低外気温度	−10℃	

※１　年間給湯保温効率（JIS）は、JIS C 9220に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。
ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率（JIS）とし、以下の式で求められます。
　年間給湯保温効率（JIS）＝１年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ １年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

※２　年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
着霜期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）２℃／１℃、水温５℃、沸上げ温度９０℃
冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度６８℃（システム形式に" 46" が付く場合６５℃）
着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度６８℃（システム形式に" 46" が付く場合６５℃）
夜間消費電力量比率（JIS C 9220 冬期給湯保温モード条件時）：８０％

※３　低外気温時は、５Wになります。

※４　沸上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※５　中間期標準加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）１６℃／１２℃、水温１７℃、沸上げ温度６５℃

※６　冬期高温加熱条件：外気温（乾球温度／湿球温度）７℃／６℃、水温９℃、沸上げ温度９０℃

※７　低外気温時は加熱能力が低下することがあります。

※８　ヒートポンプ運転音は、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

騒音等防止を考えた据え付けについては、"騒音等防止を考えた家庭用ヒートポンプ給湯機の据付けガイドブック"
https://www.jraia.or.jp/product/heatpump/t_guide.html をご参照ください。

MEMO

定期点検（有料）

●自然冷媒 CO_2家庭用ヒートポンプ給湯機を長くお使いいただくために、3～4年に一度、定期点検（有料）をおこなってください。

なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、公益社団法人 日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検（有料）の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。

定期点検の主な内容

定期点検については、お買い上げの販売店（工事店）またはお客様ご相談窓口へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

項　目	内　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（逃し弁、下部逃し弁、減圧弁）などの点検
清掃	貯湯ユニット内の清掃（タンク内沈殿物の除去など）

消耗部品の交換

逃し弁、下部逃し弁、減圧弁は消耗品です。また、使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。

保証とアフターサービス

故障、修理については…

お買い上げの販売店（工事店）またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷は、保証期間内でも有料修理となります。

●工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され、事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。

保証について

保証書は、貯湯ユニットに添付されています。「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げいただいた日から２年間です。
ただし、コンプレッサー・熱交換器は３年間、缶体は５年間です。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切り後１０年です。

次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳しくは保証書をお読みください。）

●誤った使用方法による故障や事故
●一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷
●水道水以外をご使用になったことに起因する不具合（温泉水・井戸水は使用不可）
水道水を使用しないと、故障や水漏れの原因になります。
●凍結による故障・破損
●当製品の工事説明書に基づかない施工や、専門業者以外による移動・分解等に起因する故障や不具合

修理を依頼されるとき

別冊の取扱説明書 操作編「故障かなと思ったら」にしたがって調べてもよくならないときは、お買い上げの販売店（工事店）またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
保証期間中であれば、保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは…

お買い上げの販売店にご相談ください。

●修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有償にて修理させていただきます。

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。
電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号　365日24時間受付）

TEL　フリーダイヤル　**0120-919-302**

携帯電話　ナビダイヤル　**0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理･アフターサービスに関するお問い合わせ
https://www.corona.co.jp/support/service/

■365日24時間修理依頼ができます。
部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。

公式オンラインストア
CORONA STORE

https://ec.coronaweb.com/
（コロナ公式ホームページからもアクセスできます ）

コロナ延長保証システム（有料）について

給湯機器・暖房機器・空調機器をより長く、安心してお使いいただくために、「延長保証システム」を設けております。

ご希望の場合、お申し込みは専用パンフレットにご記入いただくか、下記QRコードやインターネットアドレスからアクセスの上お申し込みください。専用パンフレットはお買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

スマートフォン、パソコンからお申し込みいただくことができます。
https://www.corona.co.jp/cat/index.html

株式会社コロナ
〒955−8510　新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　https://www.corona.co.jp/

92602202

愛情点検　長年ご使用のエコキュートの点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	●漏電しゃ断器が自動的に「OFF」になる。 ●コゲくさい臭いがしたり、異常な音や振動がする。 ●熱いお湯が出続ける。 ●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●本体、配管から水が漏れる。 ●その他の異常、故障がある。		故障や事故防止のため、電源ブレーカを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから販売店（工事店）に点検・修理をご依頼ください。